

宣 言

本日、全国の中小企業団体の代表二千五百余名は、全国約二万七千組合等の総意を取りまとめるとともに、「団結は力 見せよう組合の底力！」をスローガンに、北陸新幹線の開通により賑わいを増す、加賀百万石の城下町、ここ石川県金沢市に集い、組織の団結と、その果たすべき役割を確認した。

中小企業を取り巻く国内外の環境は大きく変動し、グローバル経済のもとでの格差拡大、熊本地震等の自然災害の恒常的な多発、人口減少・超高齢社会の到来により、日本の将来に対する不安がますます深刻化している。

こうした中、地域の雇用を支える中小企業においては、地域社会との結びつきを更に深め、広範な連携・組織化を通じて、自立化を図ることが求められている。

私達は、組合等連携組織の持つ力に対して改めて意識を集中し、中小企業の生産性向上の底上げと、本業の稼ぐ力の強化に向けて、全力で取り組んでいく。そのために、自らの経営力向上に向けた活動を団結のもとに展開していく。

また、国等に対して、中小企業の振興施策の強化を訴え、持続的な中小企業の成長と、安全、安心な地域社会の維持・発展を図るべく、本大会の決議事項の実現を強く求める。

女性や若者などにとって、働きやすい、多様な働き方の選択が広がり、働く全ての人が生き生きと活躍できる希望ある社会となるよう、私達が先頭に立って、貢献していくことを決意する。

右宣言する。

平成二十八年十月十九日

第六十八回中小企業団体全国大会